

第3回 神保原駅北まちづくり協議会 会議録

日 時	令和4年2月22日 10:00～12:00
場 所	上里町役場 協議会室
出席者	協議会委員 学識経験者 為国 孝敏氏、並木 孝之氏 地元地権者 片倉 昭弘氏、鈴木 光雄氏、中嶋 勇郷氏、武野 治氏 区長会 下山 彰夫氏、上野 文一氏 関係団体 木村 芳雄氏、吉田 仁氏 行政機関 伊藤 佳子氏、飯塚 雅彦氏 公募者 上山 弘志氏、黒澤 望氏
	事務局 まち整備課 相馬課長、飯島課長補佐、伊藤係長、清野主査、松本主任
	コンサル 昭和(株) 都市調査室：上坂、中島、清水
内 容	
下山 彰夫委員	<p><1. 開会></p> <p><2. あいさつ> 為国会長よりあいさつ</p> <p><3. 委員の出席状況報告> 事務局より、小田島委員、間下委員、田島委員、森田委員が欠席される旨を説明</p> <p><4. 会議録署名委員の指名> 協議会設置要綱第8条第2項の規定に基づき、為国会長より「片倉 昭弘氏」、「下山 彰夫氏」の2名を任命し、承諾をいただいた。</p> <p><5. 傍聴者等の入室> 神保原駅北まちづくり協議会の会議の公開に関する要綱 第2条」に基づき、本会議は「公開」により行い、傍聴者1名の入室及び、第9条第1項第4号の規定に基づき報道関係者の入室を許可した。</p> <p><6. 議題> ■ (1) 報告事項 ①住民説明・意見交換会等の開催結果について【資料1】 ～飯島課長補佐より説明～</p> <p>4回目・5回目の住民説明会について、神保原地域の人が多かったとか、地域別の参加状況はわかりますか。</p>

事務局 飯島課長補佐	受付の際には、特に住所等の記入がされていなかったため、事務局としても把握できない状況です。
上山 弘志委員	今回の説明会や、ホームページでの意見募集で、合計 70 名位、ご意見をいただいていると思うのですが、例えば、同種の説明会等と比較して、関心が高かったのか、低かったのかという手ごたえはありましたでしょうか。
事務局 飯島課長補佐	これまでの経験も踏まえますと、今回約 70 名の方のご意見やご参加をいただきましたが、これまでの町の計画の説明会、ホームページでのパブリックコメントと比較すると、結構多い方です。そのため、今回は結構意見が拾えたのではないかと考えております。
	<p>■ (2) 議事</p> <p>①神保原駅北まちづくり基本構想(案)について【資料2】</p> <p>②まちづくりの実現に向けた動きと取組みについて【資料3】</p> <p>～伊藤係長より説明～</p>
為国会長	ありがとうございました。前回いただいた皆様の意見を踏まえて説明していただいたということですね、それでは皆様からご意見、ご質問等お願いしたいと思います。
上野文一委員	事務局に質問するのですが、桶川市さんが桶川駅に東口を開発したのはご存じですね。ご存じではありませんか。桶川市さんは東口の開発をやっていますよ。桶川駅東口と神保原駅は似ていると思うのですよね、ただ違うのは桶川市さんが市政、神保原は町政であるということです。あそこはもともと道路が狭くてタクシーの当て逃げがあり、すれ違い事故を起こすことがありました。前から住民が東口開発を提案しました。ところが、地権者がうるさくて進みませんでした。これは昭和 20 年の後半頃ですかね。でも進みませんでした。その結果、西口の工場を移転させて大型商業施設を誘致して、西口の整備を行い、駅前空間を保っていききました。その次に平成 24 年頃からですかね、東口の開発が始まりました。似ているのは道路が狭いという問題と桶川市の駅の近くにお寺があり、景観的な問題がかかっています。それと先ほど言いましたように、地権者の問題で進まなかったことです。神保原駅も昭和 47 年に計画がありましたが、地権者の反対でできませんでした。そしてもう一点似ているのが、桶川駅では南小学校というのがあります、それが廃校になっています。その跡地の問題をどうしようかというのがあります。規模が違いますが、問題は似ていると思います。それはそれで桶川市さんの視察、また、その状況を踏まえて、町内に PR することが町民の議論を高めて参考になるのではないのでしょうか。それともう一つが、私は前から言っていますがプロセスと住民の目線といいますが、桶川市さんの進め方は住民の目線で話しています。まず、アンケートの内容が全然違います。それとプロセスも長い時間はありますけどもう少し住民の意見が入っています。そういった点を踏まえると桶川駅東口は参考になるのではないかと思いますので参考にさせていただければと思います。
為国会長	はい、ありがとうございました。たった今、参考するのにいいのではないかというご意見をいただきましたがいかがでしょうか。
事務局 飯島課長補佐	ご意見ありがとうございます。事務局の方も県内のまちづくりをやっている所に興味をもっております。桶川市さんの例もしかり、あと杉戸町ですね、こちらの事例もですね、非常に上里町と似ているのかなと思っています。駅前通りが県道になって、まちづくりという所からスタートしていますので、そう言った事例等を事務局でアンテナを高くして調べて参考にしたいと思っています。また、そういったところの視察ですね、こちらの実現は出来なかったのですが、発起会の時から考えておまして、正直なところコロナになる関係もございまして実現できない所もございました。そういった面もありましたので事務局側としては視察的なものは必要であると考えています。また、そういうことができなければですね、他の事例を紹介するような資料もご用意してご説明できればと思っております。また、住民の意見ですね、今回の住民説明会、意見交換会そして動画配信による意見募集など町としましては、これまで行った説明会など私の中では経験が無く、更に会場に来られなかった方に向けた動画配信、また、基本構想案の配布、周知を行い幅広く意見を集め、まちづくりに反映させたいとも思いました。その中で今後の計画という形で進んでいくわけですが、これからは本当に具体的にハード面、ソフト面を合わせて考えていくこととなりますので、これこそ、より町民の意見を聞かなければ説明できないものと考えておりますので、事務局と

<p>為国会長</p>	<p>してもその辺は丁寧に対応していきたいと考えています。</p> <p>はい、ありがとうございます。一言コメントだけさせていただきますと、大体こういうのをやる時の視察って見た目だけのところに行くことが多いんですよ。私はそれぞれの自治体、地域がそれぞれ置かれている歴史的経緯やそこに住んでられる方の想いとかってすべて違うので視察は構いませんが、プロセスを聞いてきてほしいと思っています。これからは丁寧に進めないと難しいですから先程上野さんに言っていたようなどうという経緯で、そして何かにつかつたときどういう風にしてクリアしていくか、どうしてもいい所ばかり見てきがちになってしまいますのでそれでは進まないでプロセスを参考にしてほしいです。そうしなければ絵に描いただけで終わってしまいますのでそこだけ気を付けてほしいと思います。</p>
<p>上山 弘志委員</p>	<p>構想を見させていただいて、今すぐに動いていることで、拡幅の調査をやられているみたいなのですが、例えば上里町単独で出来る事なのか、埼玉県を巻き込まないとできないことなのかということや県道の拡幅は都市計画決定してやらないといけないのかということをお聞きしたいです。都市計画決定されると事業が終わるまでものすごい時間がかかったりするのでそこは気になります。上里町単独で予算を見つけてやっていけるものなのかがよくわかりませんでした。加えて、上野さんからお話があったとおり、桶川駅の駅前広場は工事段階から担当させていただいて何が大変だったかと言いますと、JRの要望、桶川市の要望、それから路線バス会社からの要望、タクシー会社の要望、警察のパトカーをとめる要望がありました。それを全てまとめないといけないので結局私が担当させていただいている間は、決まりきりませんでした。今どうなっているかはわかりませんが、上野さんからお話を伺って大変だと感じました。</p>
<p>事務局 相馬課長</p>	<p>ご質問ありがとうございます。県道の件ですが、今、既に動いていることで町の方で、交通量調査の方もさせていただきました。これは駅北のまちづくりを検討するに当たってどういった形になるのかなど、そういうところを町の方で独自でさせていただいている所でございます。しかしながら県道については、管理者が埼玉県になりますので町で調査を行った結果を埼玉県にお渡しさせていただいて、それを参考に埼玉県のほうで検討していただくというように考えています。あくまで埼玉県に検討してもらうために動いています。また、県道の整備にあたってはですね、今現在都市計画決定されていないのでこれから県道また駅前広場、これは町の事業になりますが、これらを合わせて都市計画決定させていただいて、それから事業化と考えております。都市計画決定には時間がかかることでございますが、出来る限り地元の皆様に協力してもらいながら丁寧な説明に努め、早く都市計画決定できるように進めていきたいと思っています。</p>
<p>事務局 飯島課長補佐</p>	<p>桶川市の話などがありました。町の方でも来年度に橋上化を含めた駅の整備についての検討に入ります。そうなりますとやはりJRをはじめ交通事業者の方々との協議が始まるわけですが、そういった中でスムーズに行けるようにやっていきたいと思っているのですが、町にとって明治以来手の入らなかった駅で橋上化ということは、町としてもすごく大きな事業になっていると思います。すごく重く受け止めています。そういった中で事業者の方との調整もかかるべきなのですが、やはり町民の方が駅に対してどういった機能を求めているのかということもしっかりと受け止めて進めていきたいと考えています。よろしくお願ひします。</p>
<p>為国会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。お金と時間もかかるので上里町だけでは出来ないこともありますが、いま各地でやっているのを見てみると大切なのは地元というかですね、行政も地域の人もみんなが本気になるかどうかなんですよ。それがあれば大体は大丈夫だと思います。これを機会に問題につかつたときにクリアできる力を付けるのは必要なと思います。</p>
<p>黒沢 望委員</p>	<p>2点あるのですけれども、基本構想の中p18にある将来イメージについてなのですが、これがイメージだと分かっているのですけれども、駅前の空間と県道あたりをここまでするのは不可能なのではないかと感じてしまいます。理想が高いといえますか、特に県道神保原停車場線の方だと両脇の家を壊さなければ作れないと思います。フリー素材としてこの写真を貼られていましたら申し訳ないのですが、計画を見て考えて書いてもらっている写真でしたら、今の駅前通りの写真と照らし合わせて想像できるレベルの絵に変えてほしいです。もう一つが、将来イメージの話なのですが、駅前の空間で資料3の「今既に動いていること」の中に駅前広場の設計、検討がありまして、参考の絵をみてみますとイメージの中では交番があるところに公園があるとか、駐輪場や駐車場が広くとられていますが、そこを無くして広場にするのかなど具</p>

<p>事務局 飯島課長補佐</p>	<p>体的にどのレベルの駅前広場ができるのか教えていただければと思います。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。こちらはあくまでイメージではあるところなのですが、こちらは将来イメージなので希望や思いを含めて書いたものなので参考程度に考えてもらえればと思います。また、神保原停車場線については歩道が広がりますのでポケットパークなど考えています。狙いというか、お伝えしたかったことはですね、まちなかをただ通過するのではなく、散策していただけるような空間があるという意味合いでこのように表現しています。最近のまちづくりではウォークアブルが重要視されていて神保原でもそういった空間を作っていきたくて考えていますが、ウォークアブルな空間の中でも歩道全体を広げて空間をつくるのか、一部を大きく広げて空間をつくるのか、そういったことは皆さんとこれから決めていければと考えています。また、駅前広場の設計・検討に関してはですね、確かに現在は交番や駐車場、駐輪場などいくつかございます。そしてこちらの絵をそのまま重ねますとご想像の通りそちらの方がなくなってしまうのですが、やはりまちとしても駅前のコアゾーンに力を入れております。駅の顔となる場所ですので魅力的なものを持ってきたいと思っています。現在駅前に駐輪場がありますが、それはほんとに相応しいのかなどそういったことを含めて、総合的に考えたいと思っています。ただ駅前広場ですから広場をロータリーだけでなく広場をつくることによってイベントを行うなど賑わいつくりなども視野に入れて考えていきますのでよろしくお願ひします。</p>
<p>上野 文一委員</p>	<p>同じような意見なのですが、そこは黒沢さんもおっしゃっていたとおり、町民との気運が問われると思うのですよね。というのは、地域説明会があった中で御陣場川が河川改修できるのか、地元の人が想定できないようになっていっています。これが黒沢さんとも言われていましたとおり、このあたりが、町民が身近に感じない、身近なことだからかけ離れているのだと思います。しかも将来は財政面の不安や人口減少の問題があるため、そうしましたらこんな方法でまちづくりを進めていけるのかと思うわけですよ。だからもっと町民が身近に感じられるまちづくりを行っていかねばならないと私は思っています。また、もっと町民が身近に感じられる計画や説明をお願ひしたいです。</p>
<p>並木 孝之委員</p>	<p>今回、将来のイメージができたのですけれども、お話のやり取りを聞いていますと今回の基本構想のやり方が見えてくるというか感じるのですけれども、今回の構想はこのようになっており、令和3年度内に定めるということで。前回の話も聞かせていただいて全体的な印象をみますと現状を調べて、将来はこういう風に来たらいいのではないかと非常に一般的な話をしています。ただ、今回の協議会、それから基本構想をつくるにあたって、地元の方々など色々な方の意見を出してみよう、または聞いてみようと、そういったことは素晴らしいことだと思いますし、今後も続けていくべきことだと思います。ただ、今回もこの前も申し上げましたが、このまちづくり、やっぱり賑わいとゆとりを感じるまちづくりをテーマでやるのは逆に言えば今は少し寂れているということになりますし、それから今回、トライアル跡地のインパクトが予想されます。また、もうひとつ大きい県道の整備、駅前広場の整備ができればかなり景観も変わりますし、変な話お金も入ってきます。そこには人がいっぱい動き、お金も動き、店も動くとかこういうことになってきます。こういう時期を狙って、構想を作っていくということなのですが、1つ不安要素として未計画であることとトライアル跡地がどうなるかです。そしてそれがどういうスケジュールでやっているかとかということがまだ見えません。そういったこともみんなで議論して色々な要素を出して、いいものがあればこういうものが足りないということの基本構想の中に入れていくことで形になる。そういう意味では今回の話は消化不良に見えてくるのは皆さんのご意見の通りだと思います。これからは基本計画を作っていく中で今回のような景観まちづくりはこういった議論をしながら前回お話しした戦略、見えにくいかもしれませんが戦略を考えなければいけません。もう少し見やすくできるかもしれません。これからトライアル跡地にどういったものが出てくるか、それによってももちろん戦略も変わってきます。駅前広場がいつできるのか、橋上化になるのかならないのか、そういうことも実は戦略で変わるのである。皆さんも当然わかっていると思いますが、そういうことをこれからもずっと考えていかなければいけないと感じるところがひとつです。また、全体的な話ですけれども、もうひとつ感じるのが将来イメージの駅前の広場の空間だとか停車場線なのですが、皆さんは今の基本構想の話もそうなのだけ賑わいつけようというのが、公園があれば賑わいができると思っていると思うのですが、私が若い時にさいたま新都心のプロジェクトをやっているときにですね、にぎわい空間を作る仕事に関わる機会がありましたが、さいたま新都心の樞広場はですね、植栽ばかりでいろいろ議論が起きたんですよ、世界的なデザイナーの方の設計なのですがそこに反対する方がいて、それはイベント屋さんなんですよ。その時に有</p>

名なイベント屋さんの方も交えて会議をおこなっているときにイベントを行うには何もないのが一番いいと意見したんですよ、その空間にテントを張って他も用意すれば空間はいくらでもできる。ということでものを作られたら困るというかやりづらいと言っていました。今回の神保原のまちづくりはにぎわいとゆとりを感じるということテーマになっているとなると誤解されやすいことがありまして、今回の構想では駅前広場の脇に公園があるというのも地域のイメージとしてはいいと思うが公園ができることで駅前ににぎわいが創出されるかということ一度考えたほうがいいと思います。

片倉 昭弘委員

今までの話をお伺いして、私も先日に2丁目の意見交換会に参加させていただき、住民の方々の意見をお聞きして、感じる場所がありましたので申し上げたいと思います。まず1つ目が、目的が感じ取り難いことです。歩行者というか人を長々と滞在させることができるかと、そのことを一番最初に考えなくてはいけないという意見がありました。それについてはですね、先程からトライアル跡地の話が出ていますが、そういうことに対する旗をですね、中心の考えを町に挙げていただいてですね、そしてその指とまれっていう格好のことがですね、出来るようなことをやってもらいたい。例えばなんですけど、これから住民の方々を集めて意見を集めるということがございますけれども、大体的場合は意見を書いた紙を貼って行ってそれら意見をまとめるといった形だが、そうでなく、あらかじめトライアル跡地でいえば誘致する建築物の候補を挙げてもらって、その中で何がいいか検討するほうがいい。やり方は1つに限らず、今まで通り1から住民を含めて検討するやり方もあれば、今話したようなあらかじめ誘致する建築物を決定し、その中から決めたり、そこからまた議論をするなどいくつかの方法があってもいいと思います。最初から何を誘致するかという議論をしていたら旗が見えなくなってしまうのではないのでしょうか。

もう一つが、人間は大体保守的ですけども都市が貧しかろうが貧しくなろうが住んでいる人は結構多いと思います。それについては早い時期に手順を変えれば、ここのところは用意できますよ、そういう紹介できることをなるべく早く住民に伝えるべきだと思うし、そういった意見がありました。道路の進め方にしてでもできることから進めるべきだと思います。計画としてのちに整備する道路があるのは分かるが実際に中山道は速く進んでいる。また、土地は商品であるため、時間を大切にしないといけません。国や県と話していて時間が来たら難しかったという話は勘弁していただきたいです。町も腹をくくって行わなければならないので。

下山 彰夫委員

今、そういった話を聞いていまして、駅北のまちづくりは大変すばらしいと思います。町の看板を作ることや地域の人にとってもそこがにぎわいの場であり集まる場所となります。いろいろできるのは素晴らしいと感じています。ただ、3万人の住民の何割の人たちがこのことについて興味関心を持っているのか、ということが見えてきません。意見交換会に参加しているような地元の人はいいいですが、HPを見てみると地元の人たちが言っている意見と違った観点で意見がでています。駅北をもとから知っている人からするとやはり駅を中心として自分たちがどの程度利便性がいいのか、だから駅は何とかして頂戴って言うのがシェアされています。そのためには道路をどうしたらいいのかって言うのがこの前も言いましたけれども2番目にすべきことです。それができて駅に人が集まれば、その周辺は当然のごとく賑いは出てきます。人が集まってきたときに2番の駅前の、駅周辺のまちでいいですかっていう声をみなさんにかけてくれると思うのですよね。要するに駅北まちづくりは町民の願いであると。ということが見えてきてない、そうすると今言った説明会をやっても地域の人は出てこない。本当に興味がある人しか来ない。ということが見えてきている。だからその辺のところでは駅北まちづくりって言うのは町の中心作りなんだと、駅北の人たちだけの話じゃなくて上里町に居る住民3万人の願いの場所なんだということをどこかで打ち出さないと途中で消えてしまうのではないかなと思います。言いたいことは何かというと、町が予算を相当ここにきつ込むわけですよ、そうすると周辺の人たちは何で、自分たちの地域はどうなるの考える人たちがたくさん出てきてしまう。花火が上がってもいつの間にか消えてしまう。そんなことが起きるのではないかなと少し心配しています。この前言ったのはそういう意味でして、まずは周りの人たちがどうなったら集まりにくくなるのか。そういったことまで考えないといけません。それで初めて人が集まってきたら集まってきた人たちに対して楽しみや賑わい、利便性を与えられるかというのがここのコアであると思っています。

為国会長

はい、ありがとうございます。3人の意見を非常に集約していただいてありがたいです。事務局の方にまたお願いするのと心して今のご意見を進めていただきたいと思います。本当に町の本気度が問われて、上里町のここが本当にシンボルになるということが見えてきません。どういう風にしたいのか、そうするとさっき出ていた将来像として夢のある形ばかり作

	<p>ったので実際出来ないでしょうということになってしまいます。よくあることなのですからその点が気になります。あと教えてほしいのですが、ウォーカブル推進都市の登録というのがありますが、国交省か何かが進めているものですか。それと登録するとおいしい話があるのですか。だから登録しようとしているのですか。</p>
<p>事務局 相馬課長</p>	<p>ウォーカブル推進都市については、国土交通省の取組みになっておりまして、賛同すると全国各地でウォーカブルなまちづくりの先行事例等の情報をいただくと、そういうことで国土交通省からも登録していませんかというお誘いもいただいて登録に至ったということになります。</p>
<p>為国会長</p>	<p>ウォーカブル推進都市になると優先的にお金を出してくれるとかそういうのは無いのですか。</p>
<p>事務局 相馬課長</p>	<p>そこまではないですね。</p>
<p>為国会長</p>	<p>いや、よくあることなんですよ。僕はウォーカブルという言葉があまり好きでは無くて、だってみんな分からないでしょ、普段使わないですからね。登録するのは構いませんが、町民の人たちがウォーカブルって言ってもわからないと思います。それでも快適で歩きやすいとか今まで使っていた言葉で結構多いのですよね、都市関係って次から次へとこういう言葉を出してきて先進事例とかにしてしまうのですが、先程のお話に出てきました「歩いて楽しい」とかありましたけど、じゃあ何が楽しいの、健康でただ歩くだけの空間をつくるのですか、だけど違いますよねって、にぎわいを創りたいのではないのでしょうか。そうしましたら何か目的があってそこに集まってくる、そのための空間として歩きやすくしましょう、歩いてもらいましょうって言うのならわかりますが、ウォーカブルという言葉を出してしまうと先に「歩くまちづくり」になってしまいます。そしてそれは違うということをおっしゃると感じます。絵はいいですよ、きれいですし。ですが町民の方たちはこの絵を見てこんな風になるんだねって勝手に思ってしまう。そうすると現実にはそうはならないからがっかりしてしまうのですよ、それは良くない気がします。なのでウォーカブルというみんなが分からないような言葉を使ってごまかして、それで国から金がもらえるならいいのですが、大したものも貰えなくておすすりされたのでやりますよって、先行事例もらってというのは自治体がうれしくても町民はうれしくないですよ。そのような観点で考えてみたらいいと思います。</p>
<p>事務局 飯島課長補佐</p>	<p>ウォーカブルについてですね、こういった考えなのかと思うところがあります。結局歩いて巡るまちづくりがウォーカブルというところで、具体的には歩道を広くとることなどがあるんですけど、あえてほかのウォーカブル的な先進事例など見ますと、例えば広場があったとして、その広場に行きつくまでに車を侵入させないとかですね、そういった工夫をしてわざと歩かせる。そういったそのあえて不便さを見つめ直すと言いますか、そういったことをふまえて歩くことで新たに車が行くスピードと歩く速度は違いますのでそこで新たな発見があったりだとか、まち並みをゆっくり見ることや人との出会いがあったりとかそういったなかでコミュニティが生まれると。そういった趣旨の中でウォーカブルというものが必要なかなと感じるところなんですよ。そういうのでまちづくりを進めていく上ではやはりウォーカブルウォーカブルと言っていますが、あえて不便にすることによって新しく発見できることがあるのではないかなって私は捉えています。</p>
<p>鈴木 光雄委員</p>	<p>今回、資料を見させていただいて、前回お願いしたことを踏まえてみると、ある程度イメージが抱けるものになったのかなと思います。そういった意味では事務局に感謝申し上げますが、やっぱり黒沢さんや片倉さんがおっしゃったようにこれが上里町にとって町民全体が要望している大事な事業であるということですね、基本構想ではありながら、このあと計画の方に入っていくのですけれども、やっぱり具体的に書き込めるところは具体的に書き込んでほしいなと思うんですよ。そういう意味でアンケートも広くとっていただいたわけですし、町民が強く期待しているんだということが1つあって、それから今日配布されたこのA3版の資料の「安全・安心」、「活力」こういうものを全部支えるのがですね、県がつくる道路なわけですよ。それは誰がやるのっていうことを明確にした方がいいと思うのですよね。それでこういった道路があり、こういうものができていくのだと。県がのりやすくするためには、トライアル跡地というのは町の中核施設をつくるのだと、町民全体がいいなと思えるような中核施設をつくります。その中核施設を支えるための道路が必要なのだと。その道路ができることでこの3つの</p>

<p>下山 彰夫委員</p>	<p>ステップのストーリーが必要なのかなと思うのですよ。そういった点を踏まえてもう一度書き込んでいただくとこれが住民の中に出ていっても先程のイメージ図でものすごくいいイメージ図になっていますが、具体的設計に向けた話なども記載してくれれば誤解も減ると思います。結果的に何が言いたいかといいますと基本構想の中でも設計に向けてイメージだけでなく具体的な話が足りていないことです。ストーリーをしっかりと作ること、住民の方々に認知してもらうことが大切と感じています。</p> <p>先程のウォークブルの話をお聞きすると、駅前空間でウォークブルという言葉は合わないと思います。駅前には歩くところではなく、人が出ていくところ、又は人が帰ってくる場所である利便性がよくなくてはいけませんと感じています。ウォークブルというのがあえて不便さを出すものとなると合わないと思います。ここでウォークブルという言葉を使うのはおかしいのではないのでしょうか。使うとすれば3つ目の商業施設、このところでウォークブルという言葉を使うのであれば、ここには車は入れませんよと、あえてね。周辺に駐車場もつくらず、駅前にある駐車場をもっと利用してください、そこから歩いてこの中心街を利用しましょうという形になればウォークブルとなるという風に感じました。駅前の絵は先程からおかしいと思います。何でここに公園が必要なのか、逆にここは上里町に人が集まってきたとき利便性が高い、ここは非常に集まりやすいと思えるような場所にしないでほしいと思います。だからどのまちにいても駅周辺には大きな駐車場がありますよね。立体駐車場まで作ってそこに人を集めているのだと、高崎の立体駐車場もそうですよね、上田駅もこの間行きましたが駅前に立体駐車場がありました。そういった状況があります。歩くとかはまた別のところで一生懸命考える、賑わえる場所を。そういったことを考えていかなければいけないと思います。上里町の場合には、駅とトライアル跡地という広い場所があまりにも近すぎるため一体化させてしまおう、という案ですけれどもそういうこと考えていかなければいけないと思います。</p>
<p>上山弘志委員</p>	<p>2年ほど前に鳥取県の境港というのがありまして、その近くに水木しげるロードというゲゲゲの鬼太郎をモチーフにした商店街があるのですね、そこはすごい賑わいで、こちらでいうシャッター商店街のようなものだったらしいのですが、ここ10年くらいで急にみんなで結束して水木しげるのゲゲゲの鬼太郎のお土産を各店に置いたりだとか石像が並んでいたりだとかとにかく歩いていて面白いんですよ。私たちもタクシーで移動することが多かったんですけど、全部のお店を見たかったので全部歩いたんですよ、そしたら7・8キロくらい歩いて、そこは倉庫を改造してゲゲゲの鬼太郎テーマパークみたいなのをやったりだとかやっぱり面白いんですよ。そしてあまり行政が介入した感じがなくて、歩道が狭いままであったり、脇道は車が入れるか入れないかくらいのもまだし、ただこういう賑わいの作り方もあるのかなって思いました。上里町の場合も賑わいを創りたいのか、ハードを整備したいのか、その辺を明確にした方がいいのではないかと思います。今はどうしても若い子はSNSをやっているツイッターとかフェイスブックとかインスタとか。若い子たちがそういうコンテンツを用いて、上里町で何か面白いことやっているよっていう風に発信してもらえればあっという間に広がると思うのですよね。そうした方がいいというわけではないですけどそういったやり方もあるのかなって思いました。</p>
<p>為国会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。あの、各地で色々とやられています。ですから少し最初に言いましたが、何を旗にするのか、上里町として。そうすればそれに合わせて色々なものが対応できる。そういったものが欲しいですよ。その辺りが町の本気度っていう風になってくるのではないかなと思います。</p>
<p>片倉 昭弘委員</p>	<p>パースを書くときに、色々なわかに書いているため中心が分からなくなります。先程も中心を決めませんかという意味はですね、中心を決めてからでも考えを変えたりできると思うのですね、あまり先に花や木や草のことばかり先にやってしまうと中心が分からなくなってしまう。旗をどうやって上げるか。そういったことを中心的にやってもらってそしてそれに合わせて色付けしていくような考え方にしてもらった方が話はしやすくなるのではないかなと思います。</p>
<p>飯塚 雅彦委員</p>	<p>先程からずっと県道の話が上がっていますが、イメージを紹介されたときはグレードがとても高いと感じました。これについては町の想いと言いますか、そういったことも含めてあくまでイメージであると私は捉えさせていただいております。前々からの意見といたしましては、目指していただいているのがあくまでクランクになっていて非常に危険な道路になっているのは我々も重々承知しておりますが、ただその危険な道路をですね、県主導でまっすぐな</p>

	でも柔軟に対応したいと思います。
下山 彰夫委員	あの、応募方法ってどうするのですか。募集メンバーはあるのですけれども応募方法が分かりません。
事務局 清野主査	ご質問ありがとうございます。応募方法につきましてはHPに記載させていただきましてHPのフォームから申し込んでもらうのが1点とこちらで申込用紙を用意させていただきましてそちらからの申し込みを現在予定しております。
下山 彰夫委員	応募用紙はどこからとるのですか。
事務局 清野主査	駅でのポスター掲示っていう風になるのですが、駅のポスターの横に応募用紙を用意させていただきます。その他の方につきましては、まち整備課の方に用意させていただきましてお越しいただいてその場でご記入していただいております。
下山 彰夫委員	今の方法だとやっぱり住民には広がらないと思います。まち整備課に応募用紙を取りに来ること、そのこと自体が負担になっています。HPでやると言っていましたが、HPを使えない人もいます。そうすると駅にいかなければならない、駅と言えば通勤通学者ですよね、なのでもう少し応募方法を変えてもっと応募しやすいような方法を考えなくてはいけないと思います。3月1日の公募に出すのですよね。ならどうしてそこに応募用紙も一緒に入れてくれないのですか。募集要項をそこにつけるのだったら一緒に応募用紙いれちゃえばいいじゃないですか。どっちみち織り込みするわけですよね。そうしないと全ての人の手に渡らない。わたって初めて意識する、ですよね。そして今駅北のことをやっているっていうことは公募で出ているから知っているとは思いますが。でもどれだけの人がこのことに興味関心を持っているかわかりません。もしここを本当にやるのでしたら毎回毎回公募の中で伝えていかなければならないと思います。今はここまで話が進んでいるっていう状況を町民に伝えない限り町民は見てくれません。その方法をぜひ検討してほしいです。そのために公募があるわけですから。公募を上手く使ってほしいです。町の一大イベントなので、毎回1ページくらいまちづくりのことでいいと思います。それくらいの意気込みを持たないと町民たちは見てくれません。その辺をお願いします。
事務局 伊藤係長	ご意見ありがとうございます。ご指摘のように、全町民の方に3月広報を配布する際、每户でお知らせしたいと考えています。また、それと併せてポスターの掲示やSNSの活用などにより、幅広い方に伝えられるような方法を考えていきますのでよろしくをお願いします。
事務局 飯島課長補佐	1点お願いを含めてなんですけれども、今回はこのように15名程度の町民ワークショップという形で募集をかけます。ただ事務局の見込みとしましては、少しハードルが高いのではないかな、こんな人数集まるのかなって思っています。一度まちづくり協議会で公募をかけて8名の方にありがたく応募していただけたのですけれども、そこが上限なのかなって感じている部分もあります。そのため町としてもお声がけを直接かけようと思っています。対象の方は大学生だったり、高校生だったり若者も含めてですね、お声かけしようと思っている所ではありますが、可能であれば皆様にお近くの関心のある方には是非参加できるような形でお声かけしていただければありがたいと思っています。
下山 彰夫委員	たしかにPRって浸透させるのが大変な仕事だと思うのですが、なぜそこに区長会が入っているのかなと思っています。なんでその人たちを使わないのですか。これから年度末にかけてそれぞれの区が人を集める、または情報提供をするという事は近づいていますよね。だったらその時を使ってこうゆうものがありますよってロコミでやってもらう必要があるわけですよ。ペーパー1枚で出すのでなくてロコミで今、町がこういうことでご意見募集していますよとかこういう会があるから参加してみませんか、というようなことを区長会に頼めばいいじゃないですか。そのための区長会。町との連絡とかっていうふうにするのですけれども、だからこういう風に小さくなっちゃうんですよ。広がっているつもりでも小さくなってしまっているということなのですよ。ぜひ活用していただければと思います。
為国会長	私もそう思いますね。私も自治会長やっているけど声かけてお願いしていました。場所によっては区長会で集まる時に言って説明してほしいです。区長会だけじゃなくてほかにもあると

<p>下山 彰夫委員</p>	<p>思いますので町民の方たちに広げようと思ったらいろんな方法があると思うのですよ。それを有効に活用して分からない場合は委員の人たちにどういった団体がありますかって聞いたっていいわけですから工夫してみてください。</p> <p>今、町で広報等から子どもたちに下校放送していますよね、あれの下皿の持ち上げは小、中、高の校長なのですよね。校長が区長会に申し込んだのですよ、子供の見守りをくださいってお願いしたんですよね、ちょうどその時私もいたのですけど。最初は拒否されてそんなのPTAでやればいいでしょって、保護者がやればいいでしょって。なんで区長がそんなところに顔を出すんだよってという話が最初ありました。でも何回か話しているうちにやっぱり子どもは地域で守らなくちゃいけないよねってことから見守り隊が出来上がったのですよ。そして見守り隊だけではだめだから放送の話も多分出てきたのですよ、だからそういうことをやればいい、やっぱり区長さんって地域をまとめる大きな力を持っているわけですよ。だからそういう人を上手く活用した方がいいですよ。だからお願いするしかない。という風に思っています。</p>
<p>上野 文一委員</p>	<p>一言言わせてください。まずこの距離感が、11月18日に第一回があつてその時に区長は声かかってないのですよね。それでその後12月16日に区長は臨時総会をやっているのですよね、そこではこの話が出なかった。11月18日とかに会長が言われましたようにもっとオープンされれば12月16日に臨時総会では焦点になったと思います。こういうプロセス、進め方に問題がある。だからつまずくのだと思います。以上です。</p> <p>■ (3) その他 ①今後のスケジュールについて【資料5】 ～事務局より説明～</p> <p><7. 閉会> ～並木氏より挨拶～</p> <p style="text-align: right;">以上</p>